

「いにしえのひびきにのせて チェンバロコンサート ～ローマへの音旅～」 旅する音楽・いにしえのローマへ

（公財）宝塚市文化財団では、11月20日（火）に宝塚ベガ・ホールにおいて、チェンバロとバロック・ヴァイオリンによるコンサートを開催します。

このチェンバロコンサートは、ベガ・ホール所有のチェンバロを身近に楽しんでいただくためにロビーコンサートとして2012年に始まりました。2017年3月までたくさんの方に親しまれ、2017年6月よりホールでのコンサートに生まれ変わり、より贅沢な時間を過ごしていただけるようになりました。毎回テーマやアンサンブルの楽器を変え、多彩なバロックの



前回の公演より

響きを楽しんでいただいています。出演者による丁寧な解説も好評で、アンケートでは「音楽だけでなく知識も得られてよかった。珍しい機会なので、今後もたくさん実施してほしい。」などの感想をいただいています。

今回は、2挺のバロック・ヴァイオリンとチェンバロのトリオで、ローマにゆかりのある作曲家たちの作品を演奏します。ローマの陽光を感じさせる軽やかなバロックの調べをお楽しみください。

貴媒体におかれましても、この公演を取り上げていただければ幸いです。

- 1 日時 平成30年11月20日（火） 14:00開演（13:30開場）※公演は1時間程度を予定
- 2 会場 宝塚ベガ・ホール（阪急宝塚線清荒神駅下車すぐ）
- 3 出演 中田 聖子（チェンバロ）、河内 知子（バロック・ヴァイオリン）
稲富 友有子（バロック・ヴァイオリン）
- 4 入場料 一般500円（当日800円）
- 5 曲目 コレツリ作曲「トリオ・ソナタニ長調 Op.4-4」
ヘンデル作曲「トリオ・ソナタ短調 Op.2-6 HWV391」ほか
- 6 主催 （公財）宝塚市文化財団
- 7 お問い合わせ ご紹介・ご取材いただける場合は、下記担当にご連絡ください。
宝塚ベガ・ホール（0797-84-6192） 事業担当：四方・池田

出演者プロフィール

中田 聖子(なかた・せいこ) チェンバロ

相愛大学音楽学部器楽学科卒業。ワルシャワ・ショパン音楽院(現ショパン音楽大学)にて研修。国内外の演奏家よりチェンバロと通奏低音を学ぶ。関西を拠点に、東京、名古屋、広島、福岡など各地において演奏活動を行っている。2003年よりリサイタルを毎年度開催し、これまでにJ.S.バッハの「パルティータ」や「フランス組曲」の全曲演奏会、「ゴルトベルク変奏曲」を含むオールバッハプログラムのほか、17世紀作品からバッハが受けた影響を伝えるプログラムなどでの公演を行っている。その演奏には「安定した高い技巧」「躍動感ある演奏」と定評があり、新聞や音楽誌「音楽の友」の演奏評でも高い評価を受けている。通奏低音奏者としても古楽器奏者や古楽歌手とのアンサンブル共演多数。2012-13年に上野の森美術館を皮切りに各地で開催された「ルドゥーテの『薔薇図譜』展」のBGM演奏を手がけ、CD「ルドゥーテのためのチェンバロアルバム『愛の神殿』」をリリース。2005-6年度エリザベト音楽大学大学院非常勤講師を務める。日本音楽学会正会員。日本チェンバロ協会正会員。日本イタリア古楽協会会員。
オフィシャルウェブサイト KLAVI <http://www.klavi.com>



河内 知子(かわち・ともこ) バロック・ヴァイオリン

兵庫県立西宮高校音楽科卒業、京都市立芸術大学音楽学部弦楽器専修卒業、同大学院修了。1994年、アメリカ、インディアナ大学に留学。在学中にバロック・ヴァイオリンへ転向、パフォーマーディプロマ取得。その間に大学内のヴァイオリン製作のコースも始め、2001年より助手を務める。モダン・ヴァイオリンを岩淵龍太郎、梅原ひまり、バロック・ヴァイオリンをスタンリー・リチー、ゲサ・コルデス、室内楽をナイジェル・ノース、ヴァイオリン製作をトーマス・スパークス各氏に師事。現在、兵庫教育大学大学院非常勤講師。演奏には本人作のバロック・ヴァイオリン、フランチェスコ・ルジェリのレプリカを使用。古楽デュオ「sepia」、初期バロックアンサンブル「IL Fiore」、弦楽古楽アンサンブル「La Guirlande」メンバー。CD「ルネッサンスからバロックへ 1570-1630年 イタリア」をリリース。
オフィシャルウェブサイト <http://tomokokawachi.blog.fc2.com/>



稲富 友有子(いなとみ・ゆうこ) バロック・ヴァイオリン

神戸生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。京都市立芸術大学音楽学部弦楽科卒業。1994年ドイツ ケルンに留学し、アメリカ インディアナ大学サマーセッションにも参加するなど、研鑽を積む。熊楠の里コンクール審査員を務める。「アフリカの子供達の為のチャリティコンサート」に、イギリス室内管弦楽団、元コンサートマスター、デビット・ジュリツ氏とデュオで出演、定期的にコンサートを行う。また近年、福岡古楽祭に参加、寺神戸 亮、エンリコ・オノフリ各氏のマスタークラスを受講するなど、バロック音楽に興味を持ち、バロック・ヴァイオリン奏者としても活動している。

